

令和2年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：江之子島文化芸術創造センター

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I (1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<p>■センターが提示した施設の運営方針や活動方針に則り、enoco の存在感を高め、より多様で多くの人々に活用いただけるような施設の運営がなされているか。</p> <p>■enoco ならではの場作りと運用に努め、主体的な創造活動と交流の機会を提供し、場の活性化がなされているか。</p> <p>■各事業はセンターの方向性・強みづくりに沿った運営がなされているか。</p> <p>■今年度の重点方針「人材とネットワークの活用」「三本柱（“ネットワーク”“教育”“プラットフォーム”）の連携」に基づき、地域の資源や文化芸術と府民をつなぐ共有地としての enoco を形成するとともに、更なる認知度向上、貸館利用率の向上を含む場の活性化に取り組むとともに、施設利用の仕組み、空間の使い方等、様々なニーズに対して柔軟な対応を検討、実施しているか。</p> <p>【目標値】</p> <p>◇来館者数延べ：150,000 人</p> <p>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ数：890 件</p> <p>◇enoco と創造的活動を協働した個人・団体等の数：255 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の影響を受けたこの1年を振り返り、本来、文化施設を社会の中でどう位置付けるのか、ということを掘り下げて考える必要がある。 enoco の施設、収蔵作品、人材はどれもすごく価値があると思うので、今後は大きく広く根を張って進んでいける施設になってほしい。 文化芸術の分野でも、2025 年の大阪・関西万博に向けて、一緒にできる、生み出していける、明るい未来を作り上げていく必要がある。enoco のポッセについても、万博のボランティアにふさわしい、SDG s 含め文化リテラシーが高い人材となるよう、育成してほしい。 オンラインという、距離を飛び越えられるツールを手に入れたので、今後は、それを使ってアイデアをシェアする相手として、もう少し広い視野で各地の文化施設との交流をめざしてほしい。 オンラインとオフラインをクロスさせ、上手く使いこなすことで、これまでのカテゴリーをむしろ超えて、新しいジャンルを生み出すということに、どう取り組めるかということが次なるミッション。 今年度は数値目標に捉われずに評価するとしても、今後、新型コロナの影響が言い訳にならないよう、何らかの基準を整理しないとイケない。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での新たな取組みを一過性のものとせず、従来型のオフラインの手法とオンライン手法とをうまく併用した新たな事業展開によって、一層の館の魅力向上、認知度向上を図る。 万博等も含めた将来を見据え、10 年の節目に、enoco の存在感や今後の方向性を明確に打ち出すことで、アーティストやクリエイター、府民、行政、企業、大学等、また他の文化施設等との交流・協働を促進するとともに、文化芸術の担い手となる人材の育成を強化する。 目標や指標は定量評価だけに捉われず、enoco 本来の意義等をしっかりと踏まえ、定性評価も含めて再考する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響を考慮しながら、適切な対策と対応、事業内容の変更等を行うとともに、令和2年度コロナ禍で新たな事業の展開方法を模索してきた結果を令和3年度の事業に反映させる。 他の文化施設や団体との共催事業等を通じて連携を深め、ネットワークを強化する。また、府内の学校の教職員や美術教育者、対話型鑑賞に関心のある「ポッセ」等を対象に、鑑賞教育のあり方を検討する研究会を実施することで、担い手を育成していく。 定量評価のみならず、目標や評価の項目によっては定性評価もバランスよく取り入れていく。
I (3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果 I (4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	<p>①協働の拠点づくりに関する業務</p> <p>ア 文化関係機関とのネットワークの構築と文化情報の収集・提供</p> <p>■ネットワークの拡大に努めるとともに、形成されたネットワークを大阪に根付かせるための在り方を検討しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 逆境でのトライアルアンドエラーにより、アフターコロナにむけたアイデアを蓄えることこそ、enoco やクリエイターたちの使命。 税務やポートフォリオ等、社会のベースのところをアーティストが学ぶ機会を提供していくことが中間支援団体として大変重要。また、その場をオンラインで提供したということに、enoco の重要な役割がある。 これからは、今年度蒔いた種を育てるというフェーズに入る。単なるオンラインへの切り替えではない取組 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度以降はコロナ禍での気づきや府民・利用者の声を反映した事業展開を図るため、ロードマップの再検証を行った上で、enoco に必要な役割や事業を精査し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における文化芸術活動のあり方や事業推進方法等について情報を収集し、状況に応じて対応するとともに。情報発信を行う。 enoco の空間やリソース（資源）を活用した多様な創造活動が集まる事業「enoco の万博（仮称）」を展開し、そこでの出会いや交流を次なる連携や協働につなげていく

<p>I (3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p> <p>I (4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p>	<p>イ 創造的な活動機会の創出等の支援</p> <p>■コーディネーター人材育成を目的とする「続・enocoの学校」のメニューの強化を図るとともに、協働・実践の場の提供による自律的・自発的な人材の育成を行っているか。</p> <p>ウ 相談窓口の設置</p>	<p>みや、この期間を有効活用したこれまでの事業の整理ができていますので、普段通りの日常が戻ってきてもこれを武器として活用し、次のステップに進んでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITスキル等、これまでと求められるものが違っており、アーティストをはじめ、役所や施設も学ぶべき。また、オンラインにより、年齢も立場も居住地も全く違う人達が会することになり、コミュニケーションのあり方ももっと柔軟に考えないといけない。 ・試行実験として、今後も新しいことに取り組み、またそれを情報発信して行ってほしい。 ・真面目過ぎて、遊び方が下手。もう少しフライング的に遊ぶことで力強くなれる。アイデアを打ちだし、前に前に出ていく姿勢で見ている側を勇気づけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン等、新たに必要となったスキル等を府内市町村等に還元するとともに、enocoとしても随時、新しい考え方等を柔軟に取り入れられるよう、日ごろからの情報収集等に努める。 ・新たな取組みに果敢にチャレンジし、その状況や結果を含めて積極的に発信することで、府民や府内の文化施設等を牽引する。 	<p>ためのマッチング等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ポッセ」の府内における活動に、enocoの認知度向上につなげるとともに、府民がenocoのノウハウやリソースを享受できる仕組みを構築する。 ・enocoで蓄積してきたノウハウやネットワークを府内の市町村や文化芸術関係者に活用いただけるよう、相談窓口の体制を強化するとともに、相談窓口事業の普及に努める。
	<p>③美術コレクションの管理・活用に関する業務</p> <p>■美術コレクションの館内外における展示や貸出し等、積極的な活用を行っているか。</p> <p>■府所蔵美術作品の効果的な展示やenocoに蓄積されたコレクションキャラバンのノウハウ等の啓発に向けた取組み、対話型鑑賞プログラムの実施等、創造的な活用を行っているか。</p> <p>【目標値】</p> <p>◇作品活用点数：1,000点</p> <p>◇中規模以上の企画展：3回/年 ※共催含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術コレクションは、府の財産・資産として、より広く府民に入口を開放し、享受いただくことが大切。 ・美術コレクションを通して、戦後の暮らし・生活を改めてアーカイブしていくことはとても重要。また、それを受止め、どう自分たちのアイデアとしていけるのか考えることも大切である。 ・教育プログラムとして、美術作品の利活用を展開していることは、コロナ禍においても、本当に必要な役割である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・府民がより気軽にコレクションを楽しむことができるよう、鑑賞機会の拡大に努めていく。 ・コレクションについては、様々な工夫を凝らし、教育分野での活用等、引き続き、創造的な活用に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花博写真美術館コレクション展を2回実施する。また、多彩なコレクションの周知、府民が多様な美術作品に触れる機会を創出するため、enoco エントランスや展示室等で年間を通して、数点から十数点の作品を展示し、定期的に展示替えを行う。併せて展示風景の画像等をWeb・SNSにて発信する。 ・教育現場でのコレクション展示・対話型鑑賞授業について、その課題や可能性を議論し、対話型鑑賞の担い手育成を目的とした「enoco コレクションキャラバン」研究会を実施する。
<p>I (3) 利用者の増加を図</p>	<p>④多目的ルームの利用の承認、その取消しその他利用に関する業務</p> <p>■多目的ルームの貸出しにあたり、多様なニーズに対応し、質の高いサービスの提供に努めているか。</p> <p>■割引サービスなども含め、わかりやすい募集チラシの作成、発信や、SNS 広告等の活用等、戦略的な広報を行い、利用者の開拓に努めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業について、固定の利用客が付き始めているようであり、引き続き、頑張ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の強化を図り、引き続き、顧客拡大や利用促進に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に作成したenocoの貸室、空間利用を特集したニュースレターを活用し、関西県内の美術館等の各種施設や大学・専門学校、自治体などに案内を送付し、利用促進を図る。

<p>るための具体的手法・効果</p> <p>I (4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p>	<p>■適正な減免の実施</p> <p>【目標値】</p> <p>◇多目的ルーム (1~4) : 利用率 50%</p> <p>◇多目的ルーム (5~12) : 利用率 60%</p>			<p>・ニュースレターや SNS で貸館事業や活用方策についての周知に努める。</p>
	<p>⑥自主事業の実施</p> <p>■enoco の収益性を高め、より充実した施設運営を可能とする財源の確保に努めているか。</p> <p>■社会課題解決事業に引き続き取り組むと共に、その手法等の啓発や担い手の育成に努めているか。</p>	<p>・プラットフォーム形成支援事業が自主事業として自立した後も、地域に貢献していく何かが、 enoco の本来事業に残っていてもいい。例えば、直接出向がなくても、遠隔でアドバイスを行うなど。地域のみならず遠くの人との相談にも対応できるはず。</p>	<p>・自主事業による認知度向上や、相談事業等の本来事業との連携による相乗効果を図ること。</p>	<p>・enoco のプラットフォーム事業について、その成果や課題を PR するとともに、相談事業 (eno so done) と連携し、自治体職員等が課題共有・情報交換・交流を行う機会を提供する。</p>
	<p>⑦適切な広報の実施</p> <p>■enoco の認知度向上に向けた取り組みを行っているか。</p> <p>■事業ごとにより効果的な手法を活用し、広報を行っているか。SNS については、ユーザー層を鑑みた内容の充実や適切な頻度での更新が行われ、フォロワー数の増加が図られているか。</p> <p>■誰にでもわかりやすい言葉を用いた広報に努めているか。</p> <p>【目標値】</p> <p>◇WEB サイト全体の総セッション数 : 90,200 回/年</p> <p>◇メールニュース配信者数 : 2,500 件 (者)</p> <p>◇SNS (Facebook) のフォロワー数 : 3,500 件 (者)</p> <p>◇メディア (WEB 等含む) 掲載数 : 120 媒体以上/年</p>	<p>・ enoco が創造力の発路となり、それをネットワークで共有し、皆が活用できるという取組みがあればよかった。(オンライン会議等で利用できる壁紙や新型コロナ対策に使えるマーク等を高いデザイン性、かつ、多言語で作成し、無料でダウンロードできるように提供する。またその際には enoco のマークを付加するというような発想。)</p>	<p>・直接的な広報もさることながら、委員のご提言にあるような間接的に enoco の認知度向上につながるような取組みや工夫を積極的に行う。</p>	<p>・enoco のコンテンツやデータ等を活用・発信する等、認知度向上に取り組む。</p>
<p>II (1) アンケート調査等</p>	<p>■多様な層からのアンケート回収やモニター制度の導入などを行い、その結果について、分析及び事後の事業改善につなげているか。</p> <p>【目標値】</p> <p>◇中規模以上の企画展アンケート有効回答数 : 100 以上</p> <p>アンケートの結果プラス評価 : 80%以上</p> <p>◇貸館アンケート有効回答数 : 50 以上</p> <p>アンケートの結果プラス評価 : 80%以上</p>	<p>・アンケート調査の結果、プラス評価「98%」は非常に高いにも関わらず「B」評価になっている。アンケートの回答数さえあればいいと捉えられかねない。</p> <p>・アンケートの取得総数は限られているが、今年度、enoco にアクセスした人々は、リテラシーがとても高いと思われるので、結果よりも、こういう人達と息長く付き合っていくことこそ、実は重要。</p>	<p>・利用者の声を幅広く拾うという意味において、回答数の獲得に努めるとともに、その回答内容の分析を通し、その後の応用につなげる。</p> <p>・アンケート回答者へのフォロー等により、利用が一過性のものにならないよう、働きかける。</p>	<p>・Web フォームでのアンケート等の積極的な活用やノベルティ等の配布により、多様な層から多くのアンケートが回収できるよう努める。</p> <p>・アンケート用紙や多目的ルームにメールニュース登録用の QR コードを付け、アンケート獲得やフィードバックにつなげることで、利用が一過性のものにならないよう、働きかける。</p>

Ⅲ（３）安定的な運営が可能となる財政的基盤	■ 共同事業体の経営状況、経営規模、健全な財務状況等が確認できるか。（財務諸表により確認）	・事前提供のあった決算書等のみからでは、施設運営を担う上での問題は発見できなかった。		
-----------------------	---	--	--	--

※評価委員からのコメントがあった項目だけを抜粋して記載